



▲ご家族へ伝達

叙位（正六位）
叙勲（旭日双光章） 受章

4月18日に亡くなられた宗宮孝生さん（房島）が正六位および旭日双光章を受章され、富田町長よりご家族へ伝達が行われました。

宗宮さんは、昭和38年揖斐川町に入庁し、平成8年10月からは揖斐川町助役を2年間務められました。平成13年1月揖斐川町長に初当選し、以来平成28年10月まで4期15年余の長きにわたり、町政の発展にご尽力されました。

また、平成23年6月から2年間、岐阜県町村会長として、急速な少子高齢化や人口流出等の県内の行政課題の解決に向けて、尽力されました。

これら生前の功労が認められ、今回の叙位、叙勲の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに心からご冥福をお祈りします。



▲がん検診受診率向上を目指して

がん検診受診率向上に関する
連携協定を締結しました

6月26日（月）、揖斐川町と日本生命保険相互会社岐阜支社は、がん検診受診率向上に向けた取り組みを協働で進めることについての協定を締結しました。

これは、単に受診率を上げることだけでなく、がんの早期発見・早期治療に関する啓発や受診勧奨により、住民の皆さんの健康管理に取り組み、「健康」づくりを推進するものです。

揖斐川町では、がんにかかる方やが原因で亡くなる方が年々増加しています。今年度は、大腸がん検診の自己負担が無料となっておりますので、検診を利用して健康管理をしていきたいと思います。検診のお申込みは、揖斐川保健センター（23-11511）までご連絡ください。



▲委嘱状を代表で受け取る橋本さん

シルバーセーフティ
アドバイザー委嘱式

5月31日（水）、揖斐署が主催するシルバーセーフティアドバイザー委嘱式および研修会が、揖斐川町地域交流センター「はなもも」で行われました。

同アドバイザーは、高齢者らが交通事故に遭わないように、地域の集会などで交通事故防止を呼び掛けるなどの活動をされます。委嘱を受けた皆さんは次のとおりです。

- 橋本 満さん（小島）
- 高橋 正昭さん（清水）
- 竹中 みねさん（三輪）
- 小林 貞夫さん（谷汲深坂）
- 國枝 久夫さん（谷汲岐礼）
- 加藤 内記さん（春日香六）
- 藤田 宮子さん（春日六合）
- 杉山 正城さん（榎原）
- 小倉 照勇さん（日坂）
- 中野 郁子さん（西横山）
- 須網 政人さん（坂内川上）



▲推進大会のようす

社会を明るくする運動
推進大会

7月の「社会を明るくする運動推進大会」が6月20日（火）、揖斐川町役場で行われました。

大会では、県事務所および揖斐警察署の関係機関を招き、内閣総理大臣および岐阜県知事メッセージが伝達されました。

この運動は、7月を推進期間として、保護司会、更生保護女性会、揖斐川BBS、青少年育成推進員、県立揖斐高校のMSリーグズ、揖斐川中学校と北和中学校のMSJリーグズのメンバーにより、啓発活動や、地域交流センターにおいて、標語やポスター展示が行われています。

揖斐郡消防操法大会

6月18日(日)、大野町相羽グラウンドで、第62回揖斐郡消防操法大会が開催されました。大会には、揖斐郡内の消防団から小型ポンプの部10チーム、ポンプ車の部13チームが参加し、消防技術を競い合いました。

大会の結果は次のとおりです。

《小型ポンプの部》

優勝 揖斐川町消防団 第4班
(揖斐分団)

準優勝 揖斐川町消防団 第3班
(小島分団)

3位 揖斐川町消防団 第5班
(大深分団)

《ポンプ車の部》

優勝 揖斐川町消防団 第3班
(揖斐分団)

準優勝 大野町消防団 第2班

3位 揖斐川町消防団 第1班
(大和分団)

また、ポンプ車の部で優勝した揖斐川町消防団第3班(揖斐分団)の皆さんは、8月6日(日)、瑞穂市で開催される県大会に揖斐郡代表として参加します。



▲揖斐川町消防団揖斐分団の皆さん

災害から命を守る 土砂災害防災訓練

6月25日(日)、坂内交流センターで、坂内地区での大規模な土砂災害を想定した防災訓練が行われました。

近年の豪雨によって、全国各地で土砂災害が発生し、尊い命が失われています。地形的にも土砂災害への嚴重な警戒が必要な揖斐川町では、毎年1回土砂災害防災訓練を実施しています。

この日の訓練には地域住民や防災に関わる団体に参加し、警戒体制や非難支援体制などを確認しました。

また、訓練終了後には、越美山系砂防事務所長による講演会が行われ、災害に対する知識を深めました。



▲揖斐郡消防組合による車両救出訓練

揖斐川水防事務組合 水防訓練実施

7月2日(日)、岡島橋下流の河川公園で揖斐川水防事務組合水防訓練が実施されました。

この訓練には、大垣消防組合、揖斐郡消防組合、揖斐川町消防団や近隣町の消防団など水防関係機関が参加し、技能や連携の習熟を図りました。

訓練では、水や土砂をせき止める土の積み上げや、鋼板を組み立てる工法などの実践的な訓練が行われました。

また、岐阜県防災航空隊によるヘリ救出訓練や、国土交通省から大規模災害時に派遣される「テックフォース」と呼ばれる緊急災害対策派遣隊の排水訓練などが行われ、参加者は本番さながらの緊張感の中で訓練に臨んでいました。



▲迅速に鋼板を組み立てる参加者

揖斐川町商工会女性部 小さな親切運動で表彰

6月7日(水)に岐阜県グランドホテルで、奉仕活動に励んだ個人や団体をたたえて、「小さな親切」運動の実行章贈呈式が行われました。

今回の表彰を受けた揖斐川町商工会女性部では40年余りに渡って「尚和園清掃活動と入居者との懇談会」を行っています。

この活動では、施設内の窓ふきなど日頃手の届かない場所の清掃活動や、入居者と一緒に行う合唱などの交流事業をしています。

町長に報告に訪れた商工会女性部の皆さんは、「長年の活動が評価されて大変嬉しい。今後も小さな親切を積み重ねていきたい」と話しました。



▲揖斐川町商工会女性部の皆さん

揖斐川ライオンズクラブ から置き傘の贈呈

6月26日(月)、揖斐川ライオンズクラブから揖斐川町内の各小学校に置き傘167本の贈呈が行われました。

置き傘の寄附は、同クラブが青少年健全育成推進活動の一環として、数年ごとに行っているものです。

今回は、学校から置き傘が少なくなっていることをきいた会員の雨で子どもたちが困らないようにという思いが込められています。

揖斐川ライオンズクラブの久世政徳くせまさのり前会長から目録を受け取った富田町長は、「これからの雨の時期でも子どもたちが安心して登下校できるように大事に使わせてもらいたい」と話しました。



▲町長へ傘の贈呈

平和大行進で 核の廃絶を訴える

6月15日(木)、核兵器のない平和な世界を目指して行進する「国民平和大行進」が行われました。

この取り組みは、東京や沖縄から平和への思いを訴えながら、広島や長崎を目指すもので、揖斐川町でも毎年行われています。

この日は揖斐郡3町と神戸町で行われ、揖斐川町では、真教寺(三輪)から役場を目指して核兵器の廃絶を訴えました。

富田町長は、「揖斐川町でも恒久平和を願って頑張っていきたい」と話し、平和への願いが込められたペナントを行進の代表者に手渡しました。



▲核兵器廃絶を願い行進

きよみず幼稚園 いちご狩り体験

5月31日(水)、揖斐川町鳥島地区にある大野農園のビニールハウスで、きよみず幼稚園の園児36人がいちご狩りの体験をしました。

収穫時期の終わりを迎えた農園が、地元の子どもたちに地場産業の魅力にじかに触れ、自慢のイチゴを味わってもらおうと企画したものです。

農園の担当者から摘み方を教わった園児たちは、甘いイチゴの香りが漂うビニールハウスの中に入り、おいしいようなイチゴを探しました。大きく熟したイチゴを見つけると、歓声を上げて摘み取り、おいしそうに味わっていました。



▲熟したイチゴを探す園児たち

夏季デフリンピック
出場報告会

6月26日(月)、揖斐川町役場で夏季デフリンピックバレー競技に出場される高橋竜一さん(上南方出身)の出場報告会が開催されました。

高橋さんは先天性の聴覚障害を抱えながらもデフバレーの日本代表として活躍しており、7月18日からトルコ共和国・サムスンで開催される大会に出場されます。

報告会で高橋さんは、「ずっと支えてくれた故郷にメダルを持ち帰り恩返しをしたい」と語りました。報告を受けた富田町長は、「日本、揖斐川町の代表として優勝を目指してほしい」とエールを送りました。

皆さんでデフバレー日本代表、そして高橋さんを応援しましょう。



▲町長からエールを受ける高橋竜一さん

ヨルダンへ
青年海外協力隊

6月20日(火)、国際協力機構(JICA)青年海外協力隊としてヨルダンへ派遣される土屋増信さんが町長への訪問を行いました。

土屋さんは7月から2年間に渡ってヨルダンでの活動にあたります。ヨルダンでは、児童相談所で勤務した経験を生かして、アンマンにある孤児院で、子どもたちに日本の遊びや図工を教えながら支援を行います。

土屋さんは「日本や揖斐川町の文化を通して交流し、複雑な事情を抱えた子どもたちにも笑顔になってほしい」と話しました。



▲町長と握手を交わす土屋増信さん

水道組合が町内の
消火栓塗装ボランティア

6月23日(金)、町内の水道業者15社で組織される揖斐川町水道組合が、町内の消火栓のペンキ塗りボランティアを行いました。

このボランティアは、地域貢献の一環として、毎年、水道組合によって行われています。劣化して塗装の薄くなった消火栓に色を塗って老朽化を防ぐための取り組みです。

この日は谷汲・久瀬地域の一部の消火栓が塗られ、色あせた消火栓が鮮やかな赤色になりました。

このほかにも水道組合では、毎年、配水池の除草作業も行っています。



▲色鮮やかに塗られていく消火栓

徳山湖でEボート体験を
試行しました

6月8日(木)、徳山湖で、湖面活用による自然体験プログラムとして、Eボート体験を試行しました。

Eボートとは、10人乗りの大型ゴムボートで、清水小学校5年生12人と、谷汲中学校1年生15人が参加し、全員で力を合わせてボートを漕ぎ、時折歓声をあげながら体験を楽しみました。

なお、このEボート体験は、9月17日(日)にも開催します。詳しくは本誌26ページの募集記事をご覧ください。



▲Eボートで徳山湖を満喫